

2011年度

科目名	文化財科学実習Ⅱ		
担当教員	広岡 公夫		
配当	文財3	コード	54051
開期	後期	講時	金曜日4限
		単位数	1
授業テーマ	自然科学的手法による考古・文化財試料の年代測定		
目的と概要	遺跡・遺物・遺構に関する種々の自然科学的年代測定法の原理と試料の測定の実際について概観する。また、考古地磁気年代測定法の基礎を理解し、地磁気の化石を作る実験を実体験をする。		
成績評価法	年代測定法に関するテストやレポートによって判断(70%)し、平常点・授業時の発言(30%)を考慮して評価する。		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	「考古学のための年代測定入門」/長友恒人編/古今書院、「必携考古資料の自然科学調査法」考古調査ハンドブック・2/齋藤努監修/ニューサイエンス社、「文化財科学の事典」/馬淵久夫ほか編/朝倉書店		
履修に当たっての注意・助言/準備学習	自然科学の手法と考え方を理解することが重要です。必修の授業ですので欠席しないようにして下さい。上記の参考書などを用いて復習することが大切です。		
講義計画			
第1回	はじめに・・・・・・・・文化財学の年代測定法のいろいろ		
第2回	放射性炭素法①・・・・・・・・原理と適用年代範囲		
第3回	放射性炭素法②・・・・・・・・精度と問題点		
第4回	フィッシュントラック法①・・・・・・・・原理と適用年代		
第5回	フィッシュントラック法②・・・・・・・・適用できる文化財と問題点		
第6回	熱ルミネッセンス法①・・・・・・・・原理と適用試料		
第7回	熱ルミネッセンス法②・・・・・・・・問題点		
第8回	フィッシュントラック法①・・・・・・・・原理と問題点		
第9回	フィッシュントラック法②・・・・・・・・適用年代範囲		
第10回	考古地磁気法①・・・・・・・・地磁気とその変動		
第11回	考古地磁気法②・・・・・・・・地磁気の化石ー残留磁化の獲得		
第12回	考古地磁気法③・・・・・・・・熱残留磁化と堆積残留磁化		
第13回	考古地磁気法④・・・・・・・・地磁気の化石を作ろう(1)		
第14回	考古地磁気法⑤・・・・・・・・地磁気の化石を作ろう(2)		
第15回	その他の年代測定法		